

# まちのわだい

多年にわたる業務への精励を称える

ちぎたまさとし おうじゅほうしょう  
千北政利さんに黄綬褒章

11/ 3 [Sun]

▶賞状を手にする千北さん  
(国土交通省にて)



有限会社不動産開発代表取締役の千北政利さん(東多久町)が黄綬褒章を受賞されました。

黄綬褒章は、多年にわたって仕事に励み、人々の模範となる人に与えられるものです。千北さんは平成2年に同社を創業。不動産業に40年携わり、平成9年から現在まで公益社団法人全日本不動産協会佐賀県本部と公益社団法人不動産保証協会佐賀県本部の本部長も務めてこられました。

褒章の授与を受け、千北さんは「とても名誉なことです。不動産はお客様の財産の基盤となるものなので、信頼第一。人とのつながりと誠実さを大切に励んできたので、それを認めていただけて嬉しく思います」と、喜びを語りました。

全国高校選抜スポーツライミング 多久高校女子が総合力で2連覇!

12/21 [Sat] ~ 12/22 [Sun]

第10回全国高等学校選抜スポーツライミング選手権大会が埼玉県で開催され、リード競技の学校別団体で多久高校の樋口結花さん(3年)、掛林紗衣さん(2年)が2年連続で優勝を果たしました。

樋口さんは、インドで開催のアジアユース選手権ジュニア部門で優勝を飾った直後に出場。ハードスケジュールで万全のコンディションではありませんでしたが、26位に入り、掛林さんは21位に入る高得点を獲得。2連覇の偉業を成し遂げました。

多久高校代表として最後の出場となった樋口さんは「頑張ってくれた掛林さんに、これからは登山部のみんなを引っ張って行ってほしいです。卒業後も競技を続け、個人でさらに経験を積んでいきたいです」と力強く話しました。



▲トロフィーを手にする樋口さん(左)と、賞状を手にする掛林さん(右)

バドミントン全国大会入賞報告

12/27 [Fri]



▲左から横尾市長、吉次選手、徳重選手、田中昌樹監督、保護者代表の徳重隆仁さん、田原教育長

12月21日(土)から25日(水)にかけて、徳島県鳴門市で開催された第28回全国小学生バドミントン選手権大会で、九州代表として出場した吉次和義選手(多久スポーツピア)が男子シングルス6年生以下で3位、徳重瓢選手(多久スポーツピア)が男子ダブルス5年生以下で3位に入賞し、横尾俊彦市長と田原優子教育長へ入賞の報告を行いました。

報告の中で吉次選手は、「入賞できると思っていたので、嬉しさより驚きのほうが大きい」と話し、徳重選手は「九州大会で勝った相手に準決勝で負けてしまったので、来年に向けて毎日の練習を頑張りたい」と次回への意気込みを話しました。

また、吉次選手は今大会でシングルスベスト8以内に入賞したため、U-16ジュニア日本代表選手選考会の参加資格を獲得しています。

まちのわだい